



◎汐鳴祭 体育の部開催◎

6月11日(土)汐鳴祭体育の部が開催されました。新型コロナウイルス感染症対策として、今年度も保護者は各家庭1名の参観とご協力をいただきました。またPTA 役員や学校運営協議会委員の方々には当日の運営をお手伝いいただきまして、ありがとうございました。

4月初より体育委員会を中心に種目やスローガンの検討から始め、5月には学年種目の決定、各クラスの色決め、メンバー選出等が行われました。その間、美術部と手工芸部は横断幕の制作に励み、5月末日の朝会でスローガン発表と同時に横断幕をお披露目。6月に入ると色別結団式を経て午後練習も始まり、9日(木)の予行練習、そして当日11日を迎えました。

「勝ち負けよりも、どれだけみんなで頑張ったかだよ」という生徒たちの声が様々な場面で聞かれたことをとても嬉しく思います。心地よい汐風に吹かれながら、穏やかな優しい気持ちで仲間と共に一つのものを作り上げる楽しさをじっくり味わえたことでしょう。

赤く黄らめき、汗水流す桃争心。これで我らが橙大勝利



各チームの色がうまくまとめられたスローガン。横断幕は美術部と手工芸部の力作。とても素敵な出来栄です。

『〇〇先生のお陰です！ありがとうございました！』

体育祭終了後、クラスで集合して一日の成果をたたえ合った最後に、生徒たちから担任に贈られたこの言葉。体育祭前日の放課後にとある問題が発生し、そのことにショックを受けた担任が、当日の朝、教室で「これまで頑張ってきた体育委員に申し訳ない」と涙ながらにクラス全員に語りかけました。廊下で聞いていた私も思わず涙。生徒たちは何とか気持ちを切り替えて、クラス全員のために精一杯、力を尽くして競技に取り組んでいました。目の前の壁を乗り越えようとする一人ひとりのエネルギー、そしてやり遂げた後の明るく清々しい表情が忘れられません。



地面に横たわる生徒を遠くに発見。具合が悪いかと駆け寄ると「あ～緊張する～！」とつぶやきながら選抜リレーへ向けての準備運動の最中でした。

選抜リレーもクラス全員リレーも、前の走者とどんなに差がつこうとも、とにかく全力で最後まで走り切って、バトンを次へつなげようとするその一生懸命な熱い姿に感動。



プログラム最後の種目「みんなでジャンプ」も担任が一回一回祈るように見つめる中、今年も盛り上がりました。いつの時代も変わらないクラスの一体感を味わえるこの種目。縄の回し手も、みんなが跳びやすいように心を尽くして全身を使い、よく頑張りました。たいへんでしたね。

◎二宮町幼保小中引き取り訓練実施◎

二宮町内に震度5強の地震が発生したことを想定し、避難訓練及び幼稚園・保育園・小学校・中学校の児童生徒の引き取り訓練が、6月16日(木)に実施されました。町内中学校2校はこれまでの地区別一斉下校訓練から形を変え、町として初めての引き取り訓練参加となりました。生徒たちは教室内でシェイクアウト訓練をし、グラウンドへ集合。ふざけたり話したりする生徒はおらず、静まり返る中、職員による人数確認もスムーズに行われ、その後も特に大きな混乱もなく、無事に終了することができました。保護者の皆様におかれましては、暑い中、引き取りのご協力をありがとうございました。

